



平成 28 年 12 月 8 日
 医療局 病院経営本部
 脳卒中・神経脊椎センター総務課
 医療局救急・災害医療担当
 消防局 救急課

～要介護の原因第1位の「脳卒中」を防ぐために～

横浜市脳卒中市民啓発キャンペーン

平成28年12月1日～平成29年3月31日

脳血管疾患（脳卒中）による死亡率は年々低下傾向ですが、要介護になる原因の第1位を占めています。横浜市では、脳卒中から市民の命を守り、後遺症の軽減につなげるよう、平成24年度からキャンペーン期間を設け、予防や初期対応を紹介する講演会や、発症時の症状と適切な対応を示した世界的な標語である「FAST」の紹介活動を行っています。

「FAST」脳卒中の代表的な3つの症状である「顔面の麻痺(F:face)」、「腕の麻痺(A:arm)」、「言葉の障害(S:speech)」に気が付いたら、「すぐに119番(T:time)」という標語。ファスト。

1 市民講演会 「食から防ぐ脳卒中」

日時 平成28年12月22日（木）13:30～16:10（開場12:30）

会場 関内ホール 大ホール（横浜市中区住吉町4-42-1）

定員 1,100人 入場料無料・事前申込不要

*手話通訳・一時保育（2歳以上の未就学児）要申込

内容

第1部「脳卒中の予防と治療」

《講師》脳卒中・神経脊椎センター副病院長 城倉 健

第2部「楽しく減塩 - かるしおレシピ

～国循、かるしお食事業について～

《講師》国立循環器病研究センター副栄養管理室長 西井 和信氏

第3部 パネルディスカッション

《論者》司会 城倉 健

国立循環器病研究センター副栄養管理室長 西井 和信氏

脳卒中・神経脊椎センター神経内科医長 工藤 洋祐

脳卒中・神経脊椎センター管理栄養士 熊谷 直子

第4部 横浜市消防音楽隊 コンサート

【問合せ先】横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 市民講演会担当

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭1-2-1

TEL: 045-753-2500(代) FAX: 045-753-2859

Eメール: by-no-kouen@city.yokohama.jp

HP: <http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/infom/20161222yokohamastrokeawarenesscampaignslecture.html>

*当日、取材していただける報道関係の方は、会場1階の受付までお越しください。

2 脳卒中啓発リーフレットの配布・FASTの周知

市民の皆様のご家庭に置いて頂けるように、A4判のリーフレットを配布します。

配布時期 平成28年12月から **配布枚数** 約30,000枚

配布場所 【イベント】「横浜消防出初式2017」

場所: 横浜赤レンガ倉庫イベント広場(中区新港1-1)

日時: 平成29年1月8日(日) 10:30～15:30

【その他】 本市公共施設等



西井 和信氏



城倉 健



裏面あり

3 脳卒中啓発ポスターの掲出

脳卒中発症時の症状と、発症した際の適切な対応方法の標語である「FAST」について、イラストを用いて分かりやすく紹介するポスターを掲出します。



掲出開始時期 平成 28 年 12 月から **掲出枚数** 約 1,700 枚

掲出場所 交通機関車内広告、鉄道駅、本市公共施設、市内医療機関、消防署・消防団掲示板等

掲出交通機関	掲出期間	掲出方法
横浜市営地下鉄	平成 29 年 1 月 27 日 (金) ~ 2 月 23 日 (木)	車内広告
相模鉄道	平成 29 年 1 月 6 日 (金) ~ 2 月 5 日 (日)	車内広告
みなとみらい線 (※)	平成 29 年 1 月 30 日 (月) ~ 2 月 26 日 (日)	駅貼り

※ 横浜駅に掲出

日本における脳卒中の現状

◇ 要介護者になる主な原因 **第 1 位**

(厚生労働省 平成 25 年国民生活基礎調査の概況)

◇ 脳卒中による死亡者数 **約 11.2 万人**

(厚生労働省 平成 27 年人口動態統計 (確定数) の概況)

◇ 総患者数 **約 117.9 万人**

(厚生労働省 平成 26 年患者調査の概況)

◇ 医療費 **約 1.8 兆円**

(厚生労働省 平成 26 年度国民医療費の概況)

お問合せ先	
医療局病院経営本部脳卒中・神経脊椎センター総務課長	本間 明 Tel 045-753-2609 (上記 1、2)
医療局医療政策課救急・災害医療担当課長	黒岩大輔 Tel 045-671-3740 (上記 3)
消防局救急課長	山田裕之 Tel 045-334-6771